

受験日 平成 21 年 3 月 29 日

父母について

西東京本部 浜田山支部

小学 4 年 武田匡史

ぼくは父母のおかげでこの世に生きています。

父は力と能力を使いかせぎます。母はぼくにいつもやさしくふれあってくれます。ぼくは空手をようちえんのころから始めました。こんなおさないころからなにかを習うことはすごくぜいたくだと思います。母はやさしくてぼくが強く生きてほしいとねがって食事を作っています。ぼくはこの年になって今までをふりかえると、いろいろなものが心につまっていたのをちょっとずつそのモヤモヤが消えていきました。父や母は子どもの健康しあわせをねがいどんな辛い時も子どものことを思い出していろいろなことをします。父母はぼくにかんしゃしてるけどぼくも父母をそんけいしています。姉はいろいろな物をくれます。必ずどこかに行ったらおみやげを買って来てくれてすごくやさしく、ぼくにとっては大事な大事な人です。いくらけんかしたって必ずぼくのことを考えてくれています。